2023　年度 授業計画(シラバス)

学　科	臨床工学技士科(夜間部)	科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	国家試験演習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対象学年	3年	学期及び曜時限	通年	教室名	
担当教員	澤田　正二	実務経験とその関連資格	臨床工学技士として28年西陣病院に勤務し、臨床工学科科長として、血液浄化、呼吸、医療機器管理、手術室業務に従事した他、医療安全管理室において医療機器安全管理責任者を兼務。認定医療機器管理臨床工学技士、透析技術認定師。		

《授業科目における学習内容》

・臨床工学技士国家試験の過去問題及び類似問題等を用いた基礎確認試験を3回、並びに10回の実力試験を実施し、時期毎の学生の　勉学の進捗状況を確認しながらその結果に基づいて、演習や補習を実施することによって、国家試験合格100%を目指す。 これらの試験結果は学科の内規にも記載されているとおり、卒業認定並びに国家試験受験のための重要な参考資料とされる。

《成績評価の方法と基準》

・毎回の試験においては基本的に60点以上を合格とするが、科目としての単位の合格基準に関しては、卒業判定会議において定める。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・臨床工学技士標準テキスト、過年度国家試験問題集、学内において使用している教科書並びに臨床工学技士国家試験に合格するための各種対策本

《授業外における学習方法》

・4月から5月に月1回のペースで実施される試験は、国家試験基礎確認試験となり、過年度の国家試験問題の中でも基礎的な問題を中心に選択し、ある程度の基礎固めが出来ているかを確認する。 6月からは卒業認定試験となり、6月から11月までは月に1回、12月からは月に2回実施され、合計10回が行われる。就職のための専門試験にも活かすことができるので、以上のことを十分に把握し普段よりしっかりとした準備が必要である。

《履修に当たっての留意点》

・この国家試験演習の予定は年度始めのオリエンテーションで配布される年間スケジュールに 記載されており、早い時期から告知されているので、遅刻、欠席は基本的に許されない。ただ し、公欠は除く。また、これらの試験結果は学科の内規にも記載されているとおり、卒業認定並びに国家試験受験のための重要な参考資料とされることを十分に自覚しておくこと必要がある。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・国家試験基礎確認試験①		
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・国家試験基礎確認試験②		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験①		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験①		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験②		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験②		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験③		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験③		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験④		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験④		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・滋慶学園統一模試		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験⑤		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験⑤		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験⑥		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	・60点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な基礎知識を自分なりにまとめたりして、まとめノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験⑥		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　科	臨床工学技士科(夜間部)	科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	国家試験演習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対象学年	3年	学期及び曜時限	通年	教室名	
担当教員	澤田　正二	実務経験とその関連資格	臨床工学技士として28年西陣病院に勤務し、臨床工学科科長として、血液浄化、呼吸、医療機器管理、手術室業務に従事した他、医療安全管理室において医療機器安全管理責任者を兼務。認定医療機器管理臨床工学技士、透析技術認定師。		

《授業科目における学習内容》

・臨床工学技士国家試験の過去問題及び類似問題等を用いた基礎確認試験を3回、並びに10回の実力試験を実施し、時期毎の学生の　勉学の進捗状況を確認しながらその結果に基づいて、演習や補習を実施することによって、国家試験合格100%を目指す。 これらの試験結果は学科の内規にも記載されているとおり、卒業認定並びに国家試験受験のための重要な参考資料とされる。

《成績評価の方法と基準》

・毎回の試験においては基本的に60点以上を合格とするが、科目としての単位の合格基準に関しては、卒業判定会議において定める。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・臨床工学技士標準テキスト、過年度国家試験問題集、学内において使用している教科書並びに臨床工学技士国家試験に合格するための各種対策本

《授業外における学習方法》

・4月から5月に月1回のペースで実施される試験は、国家試験基礎確認試験となり、過年度の国家試験問題の中でも基礎的な問題を中心に選択し、ある程度の基礎固めが出来ているかを確認する。 6月からは卒業認定試験となり、6月から11月までは月に1回、12月からは月に2回実施され、合計10回が行われる。就職のための専門試験にも活かすことができるので、以上のことを十分に把握し普段よりしっかりとした準備が必要である。

《履修に当たっての留意点》

・この国家試験演習の予定は年度始めのオリエンテーションで配布される年間スケジュールに 記載されており、早い時期から告知されているので、遅刻、欠席は基本的に許されない。ただ し、公欠は除く。また、これらの試験結果は学科の内規にも記載されているとおり、卒業認定並びに国家試験受験のための重要な参考資料とされることを十分に自覚しておくこと必要がある。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	・70点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な知識のまとめノートをしっかりと振り返り、記憶の定着と実力をつけると同時に国家試験対策に取り組む。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験⑦		
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	・70点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な知識のまとめノートをしっかりと振り返り、記憶の定着と実力をつけると同時に国家試験対策に取り組む。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験⑦		
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	・70点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な知識のまとめノートをしっかりと振り返り、記憶の定着と実力をつけると同時に国家試験対策に取り組む。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験⑧		
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	・70点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な知識のまとめノートをしっかりと振り返り、記憶の定着と実力をつけると同時に国家試験対策に取り組む。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験⑧		
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	・70点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な知識のまとめノートをしっかりと振り返り、記憶の定着と実力をつけると同時に国家試験対策に取り組む。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験⑨		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	・70点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な知識のまとめノートをしっかりと振り返り、記憶の定着と実力をつけると同時に国家試験対策に取り組む。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験⑨		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	・70点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な知識のまとめノートをしっかりと振り返り、記憶の定着と実力をつけると同時に国家試験対策に取り組む。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験⑩		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	・70点以上の成績を取得することを目標とし、現在の自分に不足している知識を確認すること。		・必要な知識のまとめノートをしっかりと振り返り、記憶の定着と実力をつけると同時に国家試験対策に取り組む。
		各コマにおける授業予定	・卒業認定試験⑩		